



広報 ほうじょう

町の人口
(昭和55年8月31日現在)

前月比較

男	3,935 (+3)
女	4,188 (+1)
計	8,123 (+4)
世帯数	2,530 (+16)

祝成人おめでとう



おめでとう新成人

八十四人が大人の仲間入り

成人おめでとう。

八月十五日、午前十時から町民体育館で、真夏の成人式が行われました。

該当者八十四人(男四十七人、女三十七人)のうち五十九人が出席、中島町長、山口議長、稲富教育長から成人者に祝福の言葉があり、これに対し成人代表の太田留美さんが力強く誓いの言葉を述べました。

立食パーティーのあと「二十歳の旅立ち」と題して、各人の夢を書いた短きくを風船につけて大空へ放し合いました。

九月のこよみと催し

- 一日 防災の日
- ガン制圧月間
- 二十日 敬老の日
- 老人福祉週間
- 方城町敬老会
- 二十日 航空の日
- 動物愛護週間
- 二一日 町民運動会
- 二三日 秋分の日 十五夜
- 二四日 結核予防週間

甲子園報告

田川高ナイン



田川郡香春町の県立田川高校野球部が、十六日午前十一時三〇分方城町球場前広場で、方城町長、および後援会幹部一同などに晴れの甲子園出場を祈りました。同野球部は創立以来五十九年にして甲子園出場を果たしました。「ヤマの灯が消えてから、こんなうれいことはない、全国にヤマの子パワーを見せてくれ」などと田川地区の住民にとって、喜びは大きく、同地区あげての応援でした。

甲子園で強豪秋田商と対戦、剛球投手の高山投手に一步もひけを取らぬ村田投手(方城町出身)の投手戦となり、息もつかせぬ熱戦が展開されました。惜しくも一点差で敗れたものの、ナインの健闘ぶりに、甲子園のアルプスタンドで、またテレビの前で、惜しめない拍手を送りました。

この日球場前広場に、西村監督他野球部員がずらりと並び、小松キャプテン、西村監督、池田校長からそれぞれお礼のあいさつがありました。これに対し谷口弘後援会長は「産炭地の暗いイメージを吹きとばす見事な試合だった。こんごはその貴重な体験を心の柱として役立ててほしい」とあいさつ、小松キャプテンに花たばを贈呈しました。

向尾軍平先生、新院長として就任

方城町立病院



方城町立病院の院長として、長い間町民の皆さまに親しまれていました吉永先生が、七月三十一日

付をもちまして退職致しました。永い間本当にありがとうございました。吉永先生に替わりまして、向尾軍平先生が院長として就任致しました。

以下は向尾新院長のメッセージです。

初秋の候、町民の皆さんご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて私こと八月一日をもちまして、町立病院院長に就任致しました向尾軍平でございます。

前、吉永先生の永年にわたる地域医療の向上と、病院運営管理上のご苦心のあとを拝聴し、院長として改めて自らに問いかけてみたい所存でございます。

今後私は町民のひとりとして、地域医療、救急医療、高令者医療等を中心として、公的医療機関の役割を果たし、「住みよい、豊かな人間環境」をつくりだすため、最善の努力を尽してまいります。存じますので、今後とも皆さんの

お互いの人権を尊重し、差別のない町づくりを

青年の船乗船報告連載

私の見た中国

植田 祐子

私達を乗せた「日本丸」は四日間の航海を経て、あこがれの中国に着いた。私にとっては初めての異国の地である。港ではラッパと共に打ち鳴らされるカネ、太鼓、そして躍り狂う獅子舞。あざやかな色彩の服を着た子供達の熱烈歓迎をうけた。全ての人が心から私達の訪中を歓迎してくれ、まるでずっと以前からの友人にでも投げかけるような笑顔を見ると、私達もそれにこたえられるよう、これからの参観活動を頑張ろうと心に誓う。

中国では、あらゆる職場に女性が進出し男性と同等の立場で働いている。その代り女性労働者が働きやすいように配慮がされており、妊娠七ヶ月頃から軽い仕事をし、産後は五十六日休暇有り、育児時間は一日二時間。それから子供は安い費用で託児所が預かってくれるという。

又、家事労働も、私達が訪れた家庭では、家族皆が動機に出ているので、早く帰った人が夕食の用意をするそうだ。家庭教育は、男の子も女の子も同じように労働を熱愛する勤勉な子になるよう躾をするそうだ。

日本ではまだまだ女性の社会的地位は低く又、女性自身それに甘んじている所があるようだ。本当に女性の地位の向上を望むならばもっと主体性をもち「女」だからという甘えをなくしていかなければいけないと思う。

広州で私達は幼稚園を訪問する機会を得た。この園では、三歳から六歳半までの幼児が四百六十名で全員全託制(月曜日から土曜日まで園で保育を受け、午後から家庭へ帰る)で保育を受けている。幼い子が一週間も親と離れて生活したら親子のスキンシップが不足するのではないだろうか疑問をいだいた。でもそれは、園側と親との連絡を密にとる事により解消しているそうだ。

幼稚園の各教室を参観した。各部屋には、毛主席と華主席の肖像画がかがけてある。

子供達の唄う歌、ゲーム、遊戯全てに毛主席がでてくる。毛主席の教えと中国共産党の指導により幸せになった。それで国家の為に奉仕したいとどこへ行っても、さかんに説く。それ程幼い時から思想教育が徹底している。この子供達が大きくなった時の中国を考え

ると、何だかすえ恐しい気がしてくる。年上の子は小さい子の世話をしたり、食事を分けたりして先生の手伝いをするという。徳育・知育・体育を重んじた教育がなされていて、小さい時から労働を愛し規律を守る子供に教育されている。一三つ子の魂百まで」というが、教育が子供に及ぼす影響を感じさせられた。

中国での参観活動も終り、私の脳裏にあの子供達のこぼれんばかりの笑顔、青年達の目の輝き、学生達のまじめな勉強ぶり、通訳の人達のあたたかな応接、彼らとの別れの涙等色々な思い出が走馬灯のようにうかんできます。本当に青春の一時期に中国の人達と友好を深められたことを感謝すると共に幸せに思います。

ついに日本は世界第二位の長寿国となりましたが、喜ぶべきことか悲しむべきことか、わが国に年々老人が充満するようになるのは否定出来ない。老人は社会にどう対処すればよいのか、これについて私は老人自身の精神革命に期待したい。

まず老人自身が老人意識を捨て去ることだ。「自分はもう年をとったから何もできない」と、弱気になり、早々と隠居気分になるようではだめだ。われわれは年老いても、世間から忘れられた無用の存在にならたくない、何らかの形で社会に役立つ人間として生涯を終えたい。しかし老人が精神的、肉

めざせ、若き老人

荒川 豊 八

回廊句会

西山 ひさし 禅寺のしづけき泉 鳴つてをり
田沖 みさを
みな同じ 宿の名入りの 浴衣着て
鈴木 秋風子
機を織る 足の白さや 青すだれ
久米 チヨ子
安売りを 待って日傘を 買ふつもり
桑野 園女
はしりいも なれば殿方 にもす
すめ
岩猿 みつ子
はしりいも 前に談議の 花が咲き
桜 坊
妻といて 会話とてなき 端居か

方城町総合三位入賞

第19回 田川郡民体育大会

第十九回田川郡民体育大会が八月二十四日、添田町にて行われました。(競技種目の内、水泳、野球は七月二十七日実施済)

各競技会場では熱戦が展開されましたが、方城町は総合第三位に入賞しました。上位入賞した競技種目はやはり組織があり、計画的な練習をしているものが多かったようです。

主な成績は次のとおりです。

△総合の部▽	
一位	添田町
二位	川崎町
三位	方城町
△方城町の競技種目別成績▽	
バドミントン	一位
剣道	一位
水泳	一位
野球	二位
バスケットボール	二位
陸上	三位

国勢調査にご協力を

10月1日は、全国一斉に国勢調査が行われます。この調査は、行政の適切な運営に必要な基礎資料を提供する、極めて重要な調査です。調査票は、調査員が9月24日から30日の間に各家庭を訪問し、お配りします。記入済みの調査票は、10月1日から5日までの間に一度調査員がお伺いしますので、そのときお渡しください。なお、調査員がお伺いする時期に留守だったり、直接調査員に提出するのがお困りの方は、早めに国勢調査担当係までご連絡ください。お忙しいとは思いますが、ご協力をお願いします。



お知らせ



国民年金に関する標語の募集

国民年金の普及、推進に役立つもので未発表のもの

応募資格 県内居住者

応募方法

一人一作品とし、官製はがきに標語・氏名・年令・住所・電話番号を明記のうえ、直方市殿町六一五 直方社会保険事務所内国民年金課へ郵送のこと。

応募作品のしめきり

昭和五十五年十月十日

審査及び入選作品

県の審査委員による厳正な審査に基づき特選一、準特選二、佳

作十、を入選作品とする。

表彰 入選作品には、知事の賞状及び賞品を贈呈。

入選作品

昭和五十五年十月下旬本人に通知するほか、十一月発行の「ねんきん福岡」に掲載。なお、応募作品の著作権は県に属します。

問合せ 福岡県民生部国民年金課

(電話)〇九三二七六一一五

六五

防衛大学校学生募集

応募資格

高校卒業者(昭和五十六年三月卒業見込の者を含む)

高等専門学校三年次終了者

(昭和五十六年三月修了見込の者を含む)の者で昭和三十五年四月二日から昭和三十八年四月一日までに生まれた男子。

願書受付

十月一日から十月二十五日

試験日

第一次試験

十一月五日、六日

第二次試験

十二月五日から七日までの間の一日

試験場

飯塚市(市役所前)飯塚総合

会館

受験料

無料

採用予定人員

理工学専攻 約四三五名

福岡県職員(中級・初級)

採用試験案内

1. 受付期間

9月1日(9月20日)

2. 受験資格

中級

昭和30年4月2日から昭和36年4月1日までに生まれ

た者。

初級

昭和32年4月2日から昭和38年4月1日までに生まれ

た者(ただし、大学における

在学期間が2年を超える

者)

昭和55年

秋の交通安全県民運動実施

1. 実施期間

9月21日から9月30日まで

2. 運動の重点

安全運転の確保、特に無謀

運転の防止

歩行者、特に老人と子供の

交通事故防止

自転車及び原動機付自転車

の安全利用の促進

人文社会科学専攻

約 六五名

最終合格発表

昭和五十六年二月十日

願書提出及びお問い合わせ先

福岡地方連絡部飯塚事務所

(電話)飯塚②4847

又は方城町役場総務課へ

香典返し

ありがとうございました。次の方々から方城町長寿会に高額の香典返しを受けましたので長寿会のため最も有意義に活用させて頂きたく存じますので何卒御諒承下さい。

方城町長寿会連合会長

荒川 豊八

(草場) 香月ミツ子様

(東古門) 岩崎 俊徳様

(後谷) 麻生 英司様

(春田) 藤田トキエ様

(後谷) 早川 博様

(新町) 永野 忠男様

(中原) 久保田健児様

(前村) 林 紀代子様

(山手) 橋本 博行様

理学)は「一日の運転時間は六時間、走行距離は二百キロが目安」といっています。

ただし、これは道路事情、混雑状況で、多少数字は違ってきます。

一般道路の場合、二百キロを六時間で走るとすれば、平均時速は三十三・三キロ。これなら疲労もあまりたまずドライブが楽しめます。

一日の運転の目安は「六時間と二百キロ」をお忘れなく。

昭和五十五年九月一日発行

発行方城町役場

編集企画印刷

印刷協和印刷

報 告 ほうじょう (118号)

昭和五十五年九月一日発行